

令和5年6月29日からの大雨への派遣

- 梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んで、前線の活動が活発となり、**山口県、島根県、熊本県、福岡県、大分県、佐賀県、石川県、富山県で線状降水帯が発生**した。また、7月7日から14日にかけては、九州北部、中国、北陸、北海道地方を中心にふたたび大雨となり、10日に**福岡県と大分県を対象に大雨特別警報が発表**された。これらの影響により、各地で土砂崩れや浸水等の被害が発生した。
- 国土交通省では、中国、四国、九州、北陸、北海道地方の地方公共団体へ**TEC-FORCE等を派遣**し、リエゾン活動、気象解説(JETT)、浸水排除、給水支援、地理情報支援、被災状況調査などの自治体支援を実施した。
- 発災直後より防災ヘリ(おりづる号、はるかぜ号)による**被災状況調査を行い、浸水や土砂災害等の被害把握**を実施した。
- 水道施設被災により大規模な断水が発生した**山口県美祢市に給水機能付き散水車を貸与**した。
- 福岡県の要請を受け、**福岡県久留米市内の土石流災害現場調査に、土砂災害の専門職員を派遣**した。

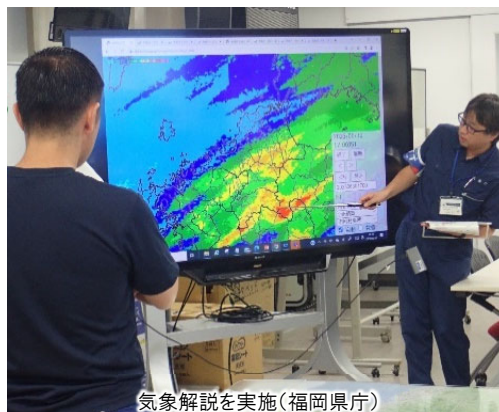
・派遣人数
のべ 1,008人・日
・災害対策用機械
のべ 126台・日

■リエゾン、JETTによる情報支援

- リエゾンによる支援ニーズの聞き取り、被災情報の提供、JETTによる気象情報の提供等を実施



支援ニーズ等の聞き取り(佐賀県庁)



気象解説を実施(福岡県庁)

■災害対策機械による支援活動

- 各地で発生した浸水の排除のため排水ポンプ車等を派遣



排水ポンプ車による排水活動(福岡県久留米市)

■給水支援活動

- 断水した自治体に、給水機能付散水車の貸出し支援



給水機能付散水車による給水活動の支援(山口県美祢市)

■防災ヘリによる広域被災調査

- 上空から広域被災状況調査を行い、調査映像を自治体と共有



防災ヘリによる広域調査(熊本県内)

■自治体施設の被災状況調査

- 道路、河川の公共施設等の被害箇所を調査し、結果を自治体へ報告



道路の被災状況調査(山口県美祢市)

■専門家による高度技術指導

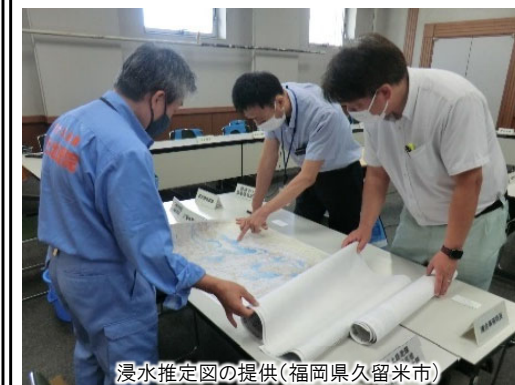
- 県管理橋梁の被災に対し応急措置及び復旧方針等の助言を実施



県管理橋梁の高度技術指導(熊本県山都町)

■地理情報の提供

- 空撮画像と標高より浸水推定図を作成し、自治体へ提供



浸水推定図の提供(福岡県久留米市)